



「津市 e-Learning ポータル」の個人アカウントを配付しました

津市教育委員会では、学習支援サイト「e-Learning ポータル」を開設し、現在、学校・学年ごとにユーザー名とパスワード（5月にお知らせしています）を入力することで、学習動画やワークシートなどの学習コンテンツが利用できる状況です。今回、生徒一人一人に、ユーザー名とパスワードが配付され、個人のデータをもとに学習支援サイトを利用できるようになりました。各自の利用状況が保存されることで、次のアクセス時には、これまでの利用状況が反映された画面の中で新たな課題等に取り組むことができます。

8月31日（月）から、学級ごとに1時間ずつPC教室を使って、割り振られたユーザー名とパスワードを入力し、学習支援サイトの利用方法を体験的に学習しています。また、サイトの利用にあたって、ユーザー名やパスワードなどの個人情報の取り扱いや、インターネットを利用する際の注意事項についても学習しています。ご家庭におかれましても、今回配付しました資料等を参考に、インターネットの利便性や危険性についてお話をさせていただくなど、子どもたちが安全に利用できるようご協力をお願いします。



生徒の活躍を紹介します

中体連の夏季総体以降、8月に行われた大会等、生徒の活躍を紹介します。

【中学生のメッセージ2020】

8月29日（土）に、伊賀市文化会館で、第42回少年の主張三重県大会「中学生のメッセージ2020」が開催されました。本年度は県内の中学生 9,774 人の応募の中から、14 人の作文が選ばれ、三重県大会での発表となりました。本校からは、2年生、柴田さんの作文「心のバリア～障がい者は特別じゃない～」が選ばれ、審査の結果、優良賞をいただきました。それぞれの発表者が自分自身の体験をもとに、感謝の気持ちを伝えることの大切さや、将来の夢、自分の挑戦、インクルーシブな社会、環境問題など様々なテーマについて、堂々と発表していました。中学生の真っすぐな思いや、真剣に発表する姿に感心させられました。今回の発表の最優秀賞1名は中部・近畿ブロック審査に進み、さらにブロックの代表者が全国大会へと進みます。



【津市中学校総合体育大会 陸上競技】

女子 1500m：3位 3年小山さん、男子 1500m：1位 3年長谷川さん、
女子砲丸投：2位 3年遠山さん、男子走幅跳：2位 3年西澤さん
オープン参加となった2年生の成績です
男子 1500m：2位 八太さん、3位 服部さん
男子 800m：1位 中山さん

【三重県中学校学年別水泳大会】

1年 50m自由形：2位 三尾さん、1年 100m背泳ぎ：2位 三尾さん



戦うべき相手はウイルスです

新型コロナウイルスへの感染の「第2波」がピークアウトしつつあるという見解も示される中、県内の感染者数についても、減少傾向にあるようです。ただ、今後も、大人だけでなく子どもたちが感染したり、濃厚接触者となったりすることが十分考えられます。

新型コロナウイルスへの感染症に関わり、インターネットを中心に感染者や濃厚接触者に対する「誹謗中傷の書き込み」や「うわさ」や「デマ」が拡散されている現実があります。このような中、最も不安を感じ、心を痛めているのは当事者やそのご家族です。感染症を防ぐことと、感染者等を誹謗中傷することは全く違います。戦うべき相手はウイルスであり、人ではありません。誹謗中傷とはいかないまでも、皆さんの中に「からかい」や「ふざけ」はありませんか？コロナ禍の中、他人を思いやる心を失ってはけません。

こういう時だからこそ、人と人とのつながりを大切にし、励ましの言葉、感謝の言葉を伝えていきたいものです。先日の中日新聞に関連した記事がありましたので紹介します。

新 聞

！ 中 日 新 聞

新型コロナウイルス感染症を巡る中傷や差別が再び激しくなっている。責められる患者らの口は重くなり、感染の実態や経路解明の壁ともなりかねない。感染は罪ではない。思いやりを持って接したい。

「コロナへの中傷」

感染者を出した学校や飲食店などへのバッシングが続いている。サッカー部員ら約百人が感染した立正大湊南高校（島根県）は、インターネット上で誹謗中傷に加え、生徒らの写真が拡散された。五十人以上のラグビー部員が感染した天理大（奈良県）では、部員でない学生も教育実習やアルバイトを断られた。浜松市のクラスター（感染者集団）発生源の一つとなったラウンジの店員、顧客の名前や写真などもネットにさらされた。

東京都から青森県の実家に帰省した男性の実家玄関先には「なんでこの時期に東京から来るのですか。この通りは小さい子もいるの

不安が募るのは確かだ。軽率な行動が感染を広げた例もあったかもしれない。しかし、十分な対策をとっても感染することはあり得る。感染をあげつらったとき、ただでさえ、弱っている患者や関係者が謝罪する社会は寂しい。誰もがり得る感染症は、罪でも罰でもない。むしろ、患者らを励まし、闘病体験などを今後に生かす道を探りたい。

湊南高校のライバルの強豪、青森山田高校（青森県）サッカー部は「コロナに負けるな。ともに頑張ろう」とエールを送る動画を公開した。激励の気持ちを共有したい。

中世の欧州でペストが流行した際、各地で組織された自警団などが、井戸に汚染物を投げ込んだのが原因などとユダヤ人に言い掛かりをつけ、迫害したという。差別はエスカレートし得る、という歴史の教訓も忘れてはなるまい。

感染するのは罪でない

目に余る中傷や差別に、萩生田光一文科相は同調しないよう呼び掛けるメッセージを発表。政府は偏見や差別への対策を検討するワーキンググループを設置する。自治体も対策に乗り出し、茨城県は差別禁止条例を制定する方針だ。だが、何より問われているのは個人や社会の度量だ。

です。そして高齢者もです。安全だと言いつつ切れますか」などと走り書きされた紙が投げ込まれた。男性はPCR検査を受け、陰性を確認した上で帰省したという。「自粛警察」と同様、監視社会を表すような「帰省警察」なる言葉も話題になった。

社 説

2020・8・27

9月の主な行事予定です

- 9月 8日（火） 後期生徒会役員選挙
- 17日（木） 3年出会い学習
- 28日（月）～29日（火） 中間テスト



毎日のお知らせや、子どもたちの学校での様子をホームページに掲載していますのでご覧ください。ホームページアドレス <http://ednet.res-edu.ed.jp/c-minamigaoka/>

